



郡上長良川ロータリークラブ

第 46 期クラブテーマ

子供たちの未来へ

会長：松森正和 副会長：藤代昇 幹事：佐藤備子

例会日：毎週水曜日 18：30~（6-9 月末 19：00~）

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 2F

TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191

E-mail：gsrca@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会

第2143回 令和6年2月21日(水)

本日の行事 会員卓話（社会奉仕委員会）

2023-24 年度

松森正和会長

のお知らせ 6月12日(水)

幹事報告

佐藤備子幹事

* 関中央 RC より ゴルフ大会開催の案内

* ガバナー事務所より

5月14日(火) シーダーヒルズ CC

・ 2025-26 年度ガバナーノミニー決定宣言

* 四日市南 RC より事務所・例会場移転のお知らせ

玉野英美氏 桑名北 RC 所属

プラトンホテル四日市

・ ガバナーナイト開催のお知らせ

* 週報拝受 郡上八幡、関中央 RC

* 郡上八幡 RC より ガバナー補佐最終訪問

第2142例会報告

会長挨拶

2023-24 年度 松森正和会長

先ほどの公開討論ですが、市長選も久しぶりですので興味があります。是非行ってみたいと思います。

今月は平和構築と紛争予防月間です。紛争と言えば、ウクライナとロシアの戦争が2年経とうとしています。長期化してしまい、終わりが見えない感じがしますが、市民の死者が1万人、640万人が世界各国に難している状況で、難しい問題です。ゼレンスキー大統領も最近、支持率の高い総司令官を市民からは大統領よりも高い支持率の人を解任したり、ウクライナの中でも色々あり、難しい事だと思えます。またパレスチナのガザ地区の問題です。これは開戦して2月で4ヶ月経ちます。死者は2万7500人でウクライナの倍多く、そのうち4割が子供です。こちらの問題も南の方に逃げていき、逃げる場所がないという事で、ウクライナよりも深刻だと思えます。どちらも攻撃を辞めないし、困った問題だと思えます。さらに周辺国にも色々な争いが波及して、他の地区でも戦争が起きているということで、紛争予防月間と言っても戦争だらけという感じがして、少しでも力になっていかなければと思えます。

今月のロータリーの友に広島にインターアクトクラブ 12~18歳のクラブがあり、ガザ地区と交流があるそうです。昨年10月6日に3人の中学生がガザから来て、柔道やドラえもん、ピカチュウ等とても喜んで交流をしていたそうです。その翌日にガザ地区への侵攻が始まってすぐ帰ったのですが、3人の子供の一人も空爆で亡くなったそうです。ガザの子たちが言う事ですが、閉じ込められたような衛生状態の悪い所で、「私たちが望んでいることは、皆さんが当たり前と思っている人権というものを与えられることです。」という事を言っていたそうです。忘れないでこれからも考えていかなければいけないと思えました。以上で終わります。

外来卓話「GOOD郡上プロジェクトについて」

郡上市市民協働センター センター長 大中瞳様

本日はお招きいただきありがとうございます。このような機会が市民協働センターにはなく、あまりご存じない方が結構いらっしゃいます。今日は郡上市市民協働センターがどういう所なのか説明をさせていただき、GOOD郡上プロジェクトについてお話をさせていただきます。

郡上市市民協働センターは自治・まちづくり・地域づくりの拠点として、郡上市から委託を請けて運営する事業所になります。民間の団体の活動としてやっています。平成24年(2012年)に設立されて、現在11年目になります。まだまだ市民への認知度が低いのが現状です。センターに入って5年になりますが、その間に色々な方と関わりを持つことが出来、色々な委員会に所属したり、イベントに呼んでいただいたりしています。白鳥の春祭り実行委員会にも参加させていただいております。

市民協働センターの役割として、市民と行政の中間支援をしています。市民や市民活動団体、事業所およ



び市が互いに認め合い、課題解決のために対等な立場で協力して、成果と責任を共有し合う関係という事で、課題に対しての中間支援をしています。

市民協働のルールとして市民協働指針というものがあります。①目的や課題を共有する事。②自主的、自発的に取り組むこと、③対等の立場でお互いを尊重し合う事。④情報を公開する事。⑤常に効果を検証しながらすすめること。

市民協働の領域ですが、5段階ある中で、市民の領域は①市民が主体的かつ独自に行う事で、行政の領域は⑤行政が主体的かつ独自に行う事で、その間の②～④の間を市民協働となります。

市民協働センターでは現在11年経ちますが、3つの柱を設けています。1つ目は地縁型、2つ目はテーマ型、3つ目は共助型です。地縁型は一昨年度前に自治会のアンケートをしました。そこから自治会や地区会への支援にも力を入れています。テーマ型はNPO法人市民活動への支援では、年間行事や、予算の計画等をロジック的に考え、目的を明確にするためにアドバイスを行ったりします。共助型は市民と行政、協働による地域づくりの支援では、補助金の支援が主になります。郡上市で出している魅力ある地域づくり推進事業補助金というものを相談や受付の窓口を協働センターが担っています。

市民協働センターではこんな事業を行っています。「GOOD郡上プロジェクト」では中高生が地域の課題解決に向けて、柔軟なアイデアで解決方法を学ぶ人材育成プロジェクトです。学校との連携はもちろん、子供たちが自ら課外活動として参加するクラブもあります。後ほど詳しく説明します。

「各種啓発イベント」では、街トークと言って、郡上市内で活躍されている方をゲストに招いて、スピーカーをお願いしてトークライブをしたりしています。また地域づくり交流会は補助金を採択された団体の活動を皆さんにシェアすることで、活動のヒントを持ち帰ってもらえるようにしています。ターゲットに合わせて様々なイベントを開催しています。

「情報の受発信」は、今年度に入ってインスタを始めました。今まで情報が届けにくかった年代にも情報が届くようになりました。「サブセンター」は各振興事務所に設置されています。それ以外に和良おこし、ななしんぼが民間の窓口になっています。

昨今の市民協働センターですが、昨年度に美並町でNINANI若者サミットが開催されました。民間のNPOや市民活動が少し弱かったという事もあり、地域協議会の方と街トークをきっかけに、美並の方は若手で力がありそうな方がいそうので始めた事業ですが、1年間やった結果、美並に南風という新しい団体が出来ました。昨年度は美並で3月に2つイベントがあり、群南マルシェと森の遊園地がフォレスト737で行われ、1千人規模の方たちが集まるイベントを開催しました。美並の課題解決に、地域遊園という視点を持って活動をしていく人が生まれたという事業でした。自治会地区会アンケートを取り、自治会回覧や、市民協働センターの冊子やインターネットでも見ることが出来ます。かなり赤裸々なデータがでました。

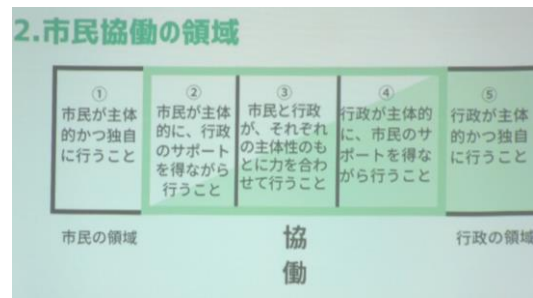
GOOD郡上プロジェクトの中で郡上の未来を作るアイデアコンテスト、略してアイコンが昨年12月に開催され、5つの優秀作品が出ました。

事業効果としまして、これまでの啓発事業を通して繋がるという部分、知る・知らせるから、知り合う・話す交流会になり、地域作り会議や未来会議などで繋がり、協働できる力を兼ね備えた人が各種団体にいらっしやるので、繋がって活動していくベースに、やっと12年経って光が見えてきたと感じています。

市民協働センターでは、市民力・自治力という言葉をよく委員でお話します。今度から理念を変えました。「創りたい未来に向け、自ら遊んで取り組む市民・団体・行政による協働」という事で、「協働について10年の段階を過ぎ、市民の活動を多発させていく為、次の一步に前進しようとしています。近年の市民協働センターの歩みの中で、強い地域づくりに必要なことは、市民の自発性だと心感感じます。

まだ市民協働センターの認知度はたかくありませんが、「市民力・自治力」を持ち、協働の意味を理解している市民は増えてきました。この一部の市民らが住民主体の活動や行政との協働活動として自発的に取り組むことで、市民が作りたい未来に自ら近づこうとする風土が郡上市に広まっていくのではないかと、市民協働センターは自ら取り組む活動を支援する事で、市民のなりたい未来に近づくとお手伝いをします。」と新しく理念を掲げて現在活動しています。

GOOD郡上プロジェクトは現在3つのテーマに分けて事業をしています。1つは、郡上の未来をつくるアイデアコンテスト。設立当初からある事業で、中高生の学校で総合の時間を使って地域のアドバイザーを送り込んで郡上市の事を学生に学んでもらい、どれを解決したいかを柔軟な考えでだしてもらい、それをコンテストにしています。2つ目はアイデア実現プロジェクト。2年前からスタートしました。アイデアを募集す



るだけでなく、実現にフォーカスしようという事で、代表的なのは「中高生鮎共釣り選手権」です。アイデアから実現した事業の一つです。若者の友釣り人口を増やすことを目的として、学生による学生の為の鮎友釣り選手権として継続開催をしています。多くの大人の協力がありながらも子供たちが主体的にできるような大人のサポートがされています。そして浴衣デーも八幡中学校生徒会の活動として 2016 年から続いています。新規の活動として「浴衣デー+」も実現しましたし、「郡上ねこむずびプロジェクト」は昨年度の優秀提案を実現したものです。地産地消のカレーや他中学校のリモート交流などがありますが、優秀提案以外でも実現したものもあります。

協働センターの課題としては、このアイデアを実現するのに、一部の団体にとどまっていることです。今は鮎の会と運営委員で行っている状態です。もう少し接点もてる団体やアドバイザーをしていただいた方が、実現まで一緒にやっていくなどの流れを作っていきたいと考えています。

3 つ目に地域づくり Lab があります。やりたい子が主体的にできる場をクラブ活動として届けましょう、という事で、市民協働センターで地域づくりのクラブ活動を行っています。北高生や白中の子が多いです。学校の先生も総合の時間を地域づくりという部分にまだまだ弱い所もあり、先生のための地域づくりセミナーも行っていきます。

先ほどの発表会ですが、スポンサーがついてくれまして、昨年度から大和総合開発と、郡上活性化協議議会の団体が特別賞という事で賞金を出していただきましたので実現しました。

ロータリークラブさんも課題と内容を見ていただき、協力できそうなどころがありましたら、お手伝いしていただければありがたいと思います。郡上市からの補助金も 1 年間で終わってしまうものもあり、継続が難しいです。中には活動が続かないものもあります。以上が GOOD 郡上プロジェクトの説明になります。ありがとうございました。

青年会議所より PR 小林理事長、岩谷専務理事様
公開討論会のご案内 3月8日(金) 郡上市総合文化センター



委員会報告 親睦委員会 小島委員 会員 2 月誕生日お祝い

ニコBOX

ニコBOX委員会 鷲見啓児君

松森正和君 長野県のなだらかな雪山に登ってきました。素晴らしい景色で、諏訪湖と富士山が同時に見えました。

佐藤備子君 大中さん、今日はよろしくお祈りします。

大村太郎君 市民協働センター長、ようこそ、今日はよろしくお祈りします。JCの皆様、歓迎します。

寺田澄男君 先日、JCOB会による長寿の会で祝っていただき、50年前にもえた事がよみがえりました。感謝感謝です。お世話になりました。JC小林理事長、岩谷専務理事、ご苦労様です。大中瞳さん、卓話楽しみにしています。

藤代昇君 大中瞳様、卓話ご苦労様です。JCの皆さんご苦労様です。今日は誕生日を迎えました。79歳になりました。

畑中知昭君 バレンタインコンサートを楽しんでいるのではありません。財団の勉強をしています。

山口里美君 2回補正分入れます。

鷲見啓児君 先日、松森会長の紹介で、老人の方が税務相談に見えました。なんとその方は、中学校の恩師(92歳)でビックリしました。当時7クラスあり、当時の担任の先生7名をフルネームで伝えたところ、褒めていただきました。先生に褒められるのは、いくつになっても嬉しいものです。

奥村照彦君 大中センター長さん、本日はご苦労様です。本日、勉強させていただきます。

遠藤正史君 大中瞳様、卓話よろしくお祈りします。

同文 和田良一君、小島正則君、寺田正実君、清水英志君

次週行事予定

2月28日 外来卓話(郡上北高)

3月13日 大和例会

3月6日 クラブフォーラム(財団について)

3月24日 PETS(名鉄グランドホテル)

出席報告

出席委員会 大村太郎君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率	出席免除
第2141回	33名	18名	13名	1名	59.38%	1名
第2142回	33名	15名	11名	6名	65.63%	1名